

1. 科目名 (単位数)	子どもの保健 I (4 単位)	3. 科目番号	SSMP2340 SNMP2340 SCMP2340 SBMP2340
2. 授業担当教員	佐野 葉子・未定		
4. 授業形態	講義、グループ学習・発表・討論、課題発表・討論	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	特になし		
7. 講義概要	ヒトの一生のなかで、小児期は形態的にも機能的にも最も激しい変化のみられる時期である。しかも、この時期に「こころ」と「からだ」の基礎の大部分が出来上がってくる。本教科目では、成長・発達してゆく過程を学び、子どもの健康の意味を理解し、子どもの健全育成とは何かを考えてみよう。さらに、子どもの疾病とその予防対策、事故と安全教育、ハンディーキャップを持った子どもの保育などの健康課題に関する知識を学ぶと共に、日常の保育の現場で実践できる能力、問題解決能力を身につけることが求められている。		
8. 学習目標	1) 子どもの成長および発達について説明することができる。 2) 小児期の成長・発達に必要な栄養、ことに母乳哺育の意義について説明することができる。 3) 子どもの生活リズムや基本的な生活習慣を説明し、実践することができる。 4) 小児期によくみられる疾病とその対処法を説明し、実践することができる。 5) 小児期の事故防止と安全教育について説明することができる。 6) 母子保健の現状と課題について説明することができる。		
9. アサシメント (宿題) 及びレポート課題	宿題：(各々の宿題は、明朝体10.5ポイントで印字し、A4判、横書き、3ページ(1ページあたり40字×39行)にまとめて下さい。) 1) 母乳哺育を阻害する要因について；(第12回終了時点で提出のこと) 母乳哺育の重要性が叫ばれているが、実際に母乳栄養をしている率は生後3か月時点で約30%である。母乳哺育を推進するためにも、どんな阻害要因があるのかを知っておくことは必要がある。 2) 小児期の代表的な病気とその対処法について；(第21回終了時点で提出のこと) 病児保育が制度化された今日、保育所や幼稚園などに勤務する職員にも子どもの病気の知識を習得し実践する能力を身につけておくことは大切である。 レポート課題： 1) 個人別レポート課題；『母子健康手帳から得られるもの』；(夏休みに入る最後の授業時に提出する) 母子健康手帳の中から得られたテーマを1つ選んで論文(総説)を書いて下さい。個人の成育歴を知り、養育者の育児に対する想いを知ることが、こどもの保健そのものなのです。 (明朝体、10.5ポイントで印字し、A4判、横書き2枚(1ページあたり40字×39行)にまとめてください。) 2) グループ別レポート課題；『保育所、幼稚園でよくみられる発疹を伴う感染症について』； (夏休みに入る最後の授業時に提出する) 発疹性疾患の診断は大変難しいので、保育所、幼稚園の実習までに知識を身につけておくことが大切。発疹性疾患のレポート課題は、グループ編成時に決める。 [明朝体10.5ポイントで印字し、A4判、横書き、4ページ(1疾患につき2ページ)(1ページあたり40字×39行)にグループごとでまとめて提出する。その後、グループごとで発表・討論し、知識を共有する。]		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 佐藤益子編著『子どもの保健 I』ななみ書房、2015年。 東京福祉大学編『保育児童福祉要説 第4版』中央法規、2013年。 【参考書】 巷野悟郎、岩田力、前澤眞理子編著『保健—理論と実際—』同文書院、2011年。 【教材】 テーマごとに資料を随時配布する		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. グループ発表の、レポートのまとめ方や疾患の説明ができるか。 ○評定の方法 [授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。 1 授業態度 総合点の10% 2 期末試験 総合点の40% 3 課題レポート、宿題、グループ発表 総合点の50% 上記のほかに、本学の規定に定められている3/4以上の出席が単位の修得の条件であることも配慮した。		
12. 受講生へのメッセージ	本教科目では、将来、受講生たちが保育所・幼稚園に勤務した時や親になった時に、役立つような知識を習得し、実践して解決する力を身につけてほしい。目的達成のために、受講生は以下のことを守ってほしい。 1) この教科内容は難解のところも多いので、常に緊張感と集中力を保って受講し、積極的な態度で授業に参加することを希望する。授業内容の理解のために、事前学習・事後学習を必ずしてほしい。 2) 宿題やレポートの提出期限を厳守すること。 3) 正当な理由がない限り、欠席、遅刻、早退をしないこと。欠席、遅刻、早退をした場合は、その理由を必ず担当教官に書面をもって報告すること。 4) 受講中には、私語、居眠り、携帯電話・メール・スマホ等の操作は絶対にしないこと。		
13. オフィスアワー	授業内で周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション 保育における子どもの保健の概説、グループ編成	事前学習	「子どもの保健」の学習用ノートを準備しておく。
		事後学習	「子どもの保健」のねらいについて、学習用ノートにまとめる
第2回	子どもの健康と保健の意義 (健康の概念、健康指標、「健やか親子21」)	事前学習	第1章(pp.9~16)を熟読し、要点を学習用ノートにまとめる。
		事後学習	「健やか親子21」について理解し、整理しておく。
第3回	子どもの成長と発達(1)	事前学習	第2章(pp.17~28)を熟読し、要点を学習用ノ

	子どもの身体発育(受精と胎内発育、小児期各期の身体発育)		一トに記入する。
		事後学習	成長と発育の違いを理解して、発育の評価をノートにまとめる。
第4回	子どもの発育と発達(2) 精神運動機能の発達(感覚機能、神経機能、精神機能)	事前学習	第3章(pp.43~56)を読んで要点を学習用ノートに記入する。
		事後学習	感覚機能、神経機能、精神機能の発達の内容をまとめる。
第5回	子どもの発育と発達(3) 生理機能の発達(呼吸機能、循環機能、免疫機能、消化機能、尿排泄機能、水分代謝、体温調節、内分泌機能)	事前学習	第3章(pp.29~42)を熟読し、要点を学習用ノートに記入する。
		事後学習	各種臓器の生理機能を理解し、大切な事項をノートにまとめる。
第6回	子どもの発育と発達(4) 生理機能の発達(呼吸機能、循環機能、免疫機能、消化機能、尿排泄機能、水分代謝、体温調節、内分泌機能)	事前学習	第3章(pp.29~42)を熟読し、要点を学習用ノートに記入する。
		事後学習	各種臓器の生理機能を理解し、大切な事項をノートにまとめる。
第7回	子どもの精神保健 ①心の健康とその課題 ②虐待、発達障害	事前学習	第5章(pp.85~102)を熟読し、要点を学習用ノートに記入する。
		事後学習	心身症、虐待、発達障害について理解を深め、要点をまとめる。
第8回	子どもの生活と保健 ②保育現場の事故防止と安全対策	事前学習	第5章(pp.85~102)を熟読し、要点を学習用ノートに記入する。
		事後学習	心身症、虐待、発達障害について理解を深め、要点をまとめる。
第9回	環境と衛生管理・安全管理 ①保育現場における衛生管理 (自然環境の衛生管理、施設の衛生管理)	事前学習	第6章(pp.103~118)を熟読し、要点を学習用ノートに記入する。
		事後学習	自然環境の衛生管理、施設の衛生管理、滅菌・消毒法について、要点をまとめる。
第10回	子どもの生活と保健 ②保育現場の事故防止と安全対策	事前学習	第6章(pp.119~133)を熟読し、要点を学習用ノートに記入する。
		事後学習	発達段階からみた事故の特徴、乳幼児突然死症候群、安全管理について要点をまとめる。
第11回	子どもの食 (1)子どもの栄養生理	事前学習	配布したプリントを熟読し、要点を学習用ノートに記入する。
		事後学習	三大栄養素の消化・吸収がどこの消化管内で行われているかを理解し、要点をまとめる。
第12回	子どもの食 (2)母乳哺育の意義	事前学習	配布したプリントを熟読し、要点を学習用ノートに記入する。
		事後学習	母乳哺育の長所と短所、完全母乳栄養、「母乳育児を成功させるための十か条」についてまとめておく。
第13回	子どもの疾病と保育 (1)おもな症状の見かたと対応	事前学習	配布したプリントを熟読し、要点を学習用ノートに記入する。
		事後学習	主な症状(発熱、咳、嘔吐、下痢、意識障害、けいれん、発疹など)と病気との関係をまとめておく。
第14回	子どもの疾病と保育 (1)おもな症状の見かたと対応	事前学習	配布したプリントを熟読し、要点を学習用ノートに記入する。
		事後学習	主な症状(発熱、咳、嘔吐、下痢、意識障害、けいれん、発疹など)と病気との関係をまとめておく。
第15回	子どもの疾病と保育(2)先天異常 (先天代謝異常、染色体異常、外表奇形)	事前学習	先天異常の分類、先天異常の三大発生要因についてまとめておく。
		事後学習	先天異常の分類、先天異常の三大発生要因についてまとめておく。
第16回	子どもの疾病と保育(3)代表的な疾病 (その1)ウイルス性、細菌性、その他の感染症	事前学習	第4章(pp.57~65)を熟読して要点を学習用ノートに記入する。
		事後学習	各臓器の病気について理解を深め、要点をまとめておく。
第17回	子どもの疾病と保育(3)代表的な疾病 (その2)アレルギー、神経系の病気、心身症	事前学習	第4章(pp.68~71)を熟読して、要点を学習用ノートに記入する。
		事後学習	各臓器の病気について理解を深め、要点をまとめておく。
第18回	子どもの疾病と保育(3)代表的な疾病 (その3)呼吸器、循環器、消化器、生殖・泌尿器、血液系、内分泌・代謝、皮膚、眼、耳、整形外科の病気	事前学習	第4章(pp.71~84)を熟読し、要点を学習用ノートに記入する。
		事後学習	各臓器の病気について理解を深め、要点をまとめておく。
第19回	子どもの疾病と保育 (4)子どもの疾病の予防と対応(予防接種)	事前学習	第4章p.59を読んで、要点を学習用ノートに記入する。
		事後学習	定期予防接種と任意予防接種の違い、予防接種の種類について理解を深め、内容をまとめておく。
第20回	子どもの疾病と保育 (4)子どもの疾病の予防と対応(予防接種)	事前学習	第4章p.59を読んで、要点を学習用ノートに記入する。
		事後学習	定期予防接種と任意予防接種の違い、予防接種の種類について理解を深め、内容をまとめておく。
第21回	救急・応急処置 ; ①意識障害、呼吸停止、心停止、ショック けいれん ②頭部打撲、やけど、異物誤嚥、異物誤飲	事前学習	配布したプリントを熟読し、要点を学習用ノートに記入する。
		事後学習	「心肺蘇生におけるABC」や事故に対する応急処置をまとめて整理しておく。

第22回	健康及び安全の実施体制 (1) 家庭・専門機関・地域との連携 (家庭との連携、生活リズム、食事、睡眠など)	事前学習	第7章 (pp. 136~141) を熟読し、要点を学習用ノートに記入する。
		事後学習	家庭との連携と同時に、生活リズム、メラトニン、食事、睡眠の要点をまとめておく。
第23回	健康及び安全の実施体制 (2) 主な母子保健対策と保育 (健康診査、保健指導、擁護援護、医療対策)	事前学習	第7章 (pp. 136~141) を熟読し、要点を学習用ノートに記入する。
		事後学習	健康診査、保健指導、「健やか親子21」などについて整理しておく。
第24回	母と子の保健 (母子保健施策、母子保健等に関連する法規)	事前学習	第1章 (P. 12)、第7章 (pp. 146~147) をよんで要点を学習用ノートに記入する。
		事後学習	母子保健の歴史、母子保健施策の概要をながめて、その内容をまとめておく。
第25回	[グループごとの課題発表、討論] 子どもにみられる発疹性疾患 (1) 斑丘疹性発疹(その1)	事前学習	自分たちの発表について予行演習をしておく。また、質問に答えられるようにしておくこと。
		事後学習	答えられなかった事項について調べておく。
第26回	[グループごとの課題発表、討論] 子どもにみられる発疹性疾患 (1) 斑丘疹性発疹(その2)	事前学習	自分たちの発表について予行演習をしておく。また、質問に答えられるようにしておくこと。
		事後学習	答えられなかった事項について調べておく。
第27回	[グループごとの課題発表、討論] 子どもにみられる発疹性疾患 (2) 水疱性発疹	事前学習	自分たちの発表について予行演習をしておく。また、質問に答えられるようにしておくこと。
		事後学習	答えられなかった事項について調べておく。
第28回	[グループごとの課題発表、討論] 子どもにみられる発疹性疾患 (3) しょう紅熱様発疹 (4) じんま疹様発疹	事前学習	自分たちの発表について予行演習をしておく。また、質問に答えられるようにしておくこと。
		事後学習	答えられなかった事項について調べておく。
第29回	「子どもの保健」のまとめ	事前学習	教科書、プリントなどをはじめから見直し、整理しておこう。
		事後学習	大切なところをもう一度チェックし、ノートに記入しておこう。
第30回	子どもに見られる疾患 (スライド供覧)	事前学習	発疹を伴う病気、感染症、先天異常について、もう一度調べておく。
		事後学習	新生児マス・スクリーニングで見つかる病気、発疹性疾患を整理しておく。